



とつか
2021年6月会報 第320号

2020 国際会長(IP) Jacob Kristensen (デンマーク)

主 題 “VALUES, EXTENSION and LEADERSHIP” (価値観、エクステンション、リーダーシップ)

スローガン “TRUST IN THE RIVER OF LIFE” 「命の川を信じよう」

アジア太平洋地域会長(AP) David Lua (シンガポール)

主 題 “Make A Difference” 「変化をもたらそう」

～ スローガン “INSPIRE” 「奮い立たせよう」

(甲府の大会は

東日本区理事 (RD) 板村 哲也 (東京武蔵野多摩)

主 題 「変化をたのしもう！」 “Let's enjoy Changes.”

リモート方式で)

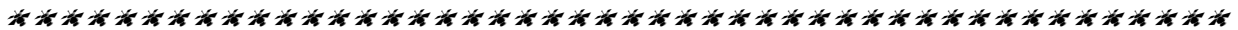
副 題 「助け合い、分かち合い」 “Let's help and share each other.”

2021 湘南・沖縄部部长(DG) 古田 和彦 (横浜)

主 題 「クラブを超えてワイズ間の交流を図り、共に YMCA に仕えよう」

クラブ会長 若木 一美 会長主題 「咲かそう 人の輪」

主 題 副会長 吉原 訓 書記 加藤 利榮 会計 岡 進



会員ひと言 ☆あの時の思い出☆ 浦出 昭吉

◎今月の聖句◎



コロナのお陰で家に閉じこもりながら思うこと
といえば、やはり何と申しても人生の大半を注ぎ
込んできたワイズ活動についてです…。あえて、
‘人一倍…’ などと考えてはいませんが、一例として
挙げるならば、会長という奉仕活動についてです。
親クラブの横浜に在籍した13年間は、会長職はただの一度
つきりでしたが、「とつか」に移ってからは25年ほどの間
に6年間にわたって「会長」の座?…に在りました。

調べてみましたら、横浜クラブの時は84年(昭59)の頃、
時あたかも横浜YMCAが創立100周年を迎え、県民ホールで
祝賀式典が吉村総主事の下、開かれたのを思い出します。
また部会(湘南・沖縄部前の南東部の頃)をホストしました。
そしてとつかに移ってからは、09年から2010年の2年間
と16年から19年までの4年間の計6年間、会長でした。
10年の8月には、第69回国際大会がパシフィコ横浜で4日
にわたって開かれ、裏方として奉仕したのがいい思い出です。
また、私にとり忘れられないのは、会長在任中の19年は、
クラブ設立25年の節目の年、YMCAの大高館長と相談して
Yと合同の式典を5月18日、内外のゲストやビジターの皆
様をお迎えし、盛大に開催することができました。感謝…!

御言葉を宣べ伝えなさい。折が良くても悪くても励みな
さい。とがめ、戒め、励まさない。忍耐強く、十分に
教えるのです。

—テモテへの手紙二・第4章・2節—

私にとって、弱気や恵みを共有することは有益です。
自分の弱さを通して他の人々にも喜びが届きます。
生きて働き、ワイズ年度の終わりに臨み、私たちが
強めてくださることに感謝しましょう。



コロナ禍による1年でした…。先月号にも有田征彦
会員が書いておられるように、今こそ‘変化の時’と
考えてよいのではないかと思います。ワイズメンと
して、この1年いつものような活動や話題が出たか…
それぞれに少し複雑な思いで、今を迎えておられるので
は…というのが、今のワタシたちの偽らざる心境か…。
それぞれに思いを受け止め、その心を来期に繋げたい。
何か一つでも良いから、自分として満足のいくシゴト
を考えたいものです…。一例として知人・友人・身内
などの皆さんをお誘いする‘会員増強’などいかがか…。

会員数	5月・中止	出席率	ファン	B	F	B	F	CS・TOP・	B A P Y	ロ	バ
メ	12	メ	他	(円)		(g)		A S F	(円)		(円)
ネット	9	ネット	前月迄		0		0	50,000	0		0
		ゲストら	当 月		0		0	0	0		0
計	21	合 計	累 計		0		0	50,000	0		0

★強い義務感を持とう 義務はすべての権利に伴う★

緑陰随想

☆ 山と私 ☆

東日本区監事 漆畑 義彦 (富士クラブ)



登山やリンツが好きで静岡市の安倍奥の山々を徘徊していた。なぜなら、市内循環バスに乗って安価に登山が出来たからだ。まず静岡・浅間大社の鳥居から竜爪山を目指す。また、足を延ばすなら十枚山、安倍峠、五色の頭、梅ヶ島温泉と歩いた。好んだルートは井川ダムから畑薙ダム、小無間、大無間、栗代川上流の三隅池などの小屋に泊まる。翌朝、赤石の稜線を下って寸又峡に出る。トロッコ電車は千頭駅に着く。‘大井川鉄道・山の家’の温泉はヌルヌルとした感じ、疲れた肌に関わりなく心地よかった。…と言う訳で、南アルプスの前衛ばかりをやったものだったが、私としては、当時の実力はここまで…と心得ていた。

私にとり、‘ボーイスカウト運動’の名前くらいは聞いてはいたが、全容は定かではなかった。長男が小3の時、その手伝いに駆り出された。…と、眠っていた心に火が付き、子どもたちと遊ぶことがこんなにも楽しいものと夢中になった。日本のボーイスカウト運動の始まりは静岡で代表者が集まり少年団日本連盟の結成をみたこと、大正11年4月13日であったと聞いた。

連盟の指導者研修会で心を惹かれたのは後藤新平の遺した言葉であった。

「よく聞け、金を残して死ぬ者は下だ。仕事を残して死ぬ者は中だ。人を残して死ぬ者は上だ。よく覚えておけ。」これが後藤総長の最期の言葉だったと教えられた。以来、励んではいるが、道はとてつもなく遠い。

ワイズに入会したのは2つの理由からである。

【1つは後進に道を譲ること】

【1つは新しい出会いを求めて】…と記憶している。

(漆畑義彦様、お忙しい中 雅趣溢れるご寄稿を賜り有り難うございました。)

アンジュ通信

横浜 YMCA ワークサポートセンターアンジュ 相馬 良文



ワークサポートセンターでは、4月30日(金)舞岡地区センターにて「非常食体験会」を実施しました。熊本地震から5年が経過し、災害への備えを改めて感じる中で、通所者の生活で重要な「食」について取り組みました。耐熱袋を利用し湯せんでの炊飯とレトルト食品の組み合わせです。炊飯の水加減は、道具を使わない目分量。味の分かりにくいレトルト食品。初体験の方もおられ良い経験となりました。

会食を控えたため、それぞれお持ち帰りいただき、ご家庭での体験プログラムとして、連休中に実践していただきました。



☆みらいの子どもたちへのプレゼント

富士山 YMCA ☆

館長 村田 彰宏 (富士クラブ)



19年度利用者数は過去最高 13,155 名となりましたが、20年度はコロナの影響で、企業や学校団体の研修、宿泊予約は軒並みキャンセルとなりました。一方でテント泊

は、感染拡大の予防策を講じたためか、休業期間もありましたが、多くの家族の皆さんにご利用いただきました。

「ゆるキャン△」「ヒロシのぼっちキャンプ」などアニメやTV放映、利用者によるSNS、YouTube等、動画配信など



よるつながりから利用増になっており、過去最高の延べ6,000名になりました。秋には、日ごろ、年間を通してお支えいただいているワイズメンズクラブ富士山部の部大会が開催されました。「みらいの子どもたちへのプレゼント」として収穫体験ができるようブルーベリーの苗木10本の記念植樹も行われました。苗木が育ち、収穫を迎える頃には、YMCA 保育園やサマーキャンプで訪れる青少年たちがこの大自然の中を走り回り、笑顔で溢れることを切に願っております。【平和の鐘】

今年度は5月の連休時に、テント、宿泊棟利用ともにほぼ定員となり、延べ800名ほどの利用がありました。アフターコロナを見据え、ワーケーションやSDGsへの取り組みから、「自然と人」とのつながり、この大自然のロケーションを存分に活かした利用が増えますよう、いっそう整えていきたいと思っております。



とつかの皆様のお越しを心からお待ちしております。



《金井スタッフと・左:筆者》



YMCA だより



☆未来へつなぐ取り組み☆

クラブ担当主事 瀬戸 俊孝

‘SDG s’、すでに皆さんはこの文字の意味をご存知かと思います。‘Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)’の略称です。

時にエス・ディー・ジー・エスと読まれる方もお出でのですが、終わりの部分は、上記のようにゴールズです。

さて、SDGsは2015年9月の国連サミットで採択され、国連加盟193か国が翌2016年から2030年の15年間で達成するために掲げた目標です。17の大きな目標と、それらを達成するための具体的な169のターゲットで構成されています。

湘南とつかYMCAでは、ユースリーダーが中心になって、昨年11月以来定期的に地域清掃を実施しております。これは、SDGsの目標14の「海の豊かさを守ろう」にもつながります。海のゴミの70%は街のゴミが川を伝って排出されていると言われています。街のゴミを減らすことは、直接、浜辺のゴミ拾いと同様に、海を守る取り組みにつながる訳です。

今回、5月29日(土)にとつかYMCA近隣の柏尾川周辺のゴミ拾いを実施しました。今後も定期的に行いますので、次回は、より多くの皆さんのお参加をよろしく願います。

私たちYMCAの活動は、未来につながることをイメージして取り組んでまいります。



☆今月の歳時記から☆

‘螢ほたる’と‘田植 たうえ’

‘ほたる’、今頃の夜、水辺に光りながら飛び交う螢は美しい。神秘的な光は‘宇治のホタル合戦’などいろいろの伝説を生んだ。腹端に複雑な発光器を持ち、熱を伴わない冷たい感じの光を発する。小型のを平家螢、大型のを源氏螢といい、また山地には姫螢がいる。6月までが盛りである。

草の葉を落ちるより飛ぶ螢かな 芭蕉
大螢ゆらゆらと通りけり 一茶
三十路とは一途に螢追いきれず 礼子

次に‘たうえ’、6月上旬から7月初旬にかけて行われる。農家にとり、最大の農作業。最近、機械化が進み、以前の様に村中総出で‘田植歌’を歌いながらの風景は見られなくなったが、四国や九州では、‘さのぼり。早苗饗’といって、赤飯を炊いて皆で無事終わったことを祝う行事がある。

勿体なや昼寝して聞く田植歌 一茶
みめよくて田植の笠に指を添う 誓子
一茶



☆6月・7月のこよみ☆

- >6/1(火) 第90回Y-Y'S協議会・19:00・zoom方式
- >6/6(日) 湘南とつか・鎌倉YMCA合同サッカー大会
- >6/12(土) 第24回東日本区大会・甲府・13時
- >6/19(土) 第4回湘南・沖縄部評議会・15時
- >7/3(土) 第1例会・総会：湘南とつかYMCA・17:00

～Happy Birthday～
鈴木ひろ子さん 6月15日

2021-2022 会長主題 「咲かそう 人の輪」

事業計画 次期会長 若木 一美

- 7月 3日(土) 総会・ユニリーフ・若木部長
- 20日(火) 事務会
- 8月 7日(土) 夏休み休業
- 17日(火) 事務会
- 9月 4日(土) 例会：瀬戸さん大いに語る
- 21日(火) 事務会
- 10月 23日(土) 部大会
- 19日(火) 事務会
- 11月 3日(水・祝) YMCA e~とつか祭
- 16日(火) 事務会
- 12月 4日(土) リーダー研修会
- 21日(火) 事務会・忘年会
- 1月 15日(土) Y-Y's 新年会
- 18日(火) 事務会
- 2月 11日(金・祝) YMCA 会員大会
- 13日~14日 湯ったり、湯ったり 河津桜ツアー
宿泊先 伊豆高原
- 3月 5日(土) 小田原北條まつり 四方山話
- 15日(火) 事務会
- 4月 2日(土) レクリエーション・クラフト教室
- 19日(火) 事務会・竹の子例会(?)
- 5月 7日(土) ゴールデンウィーク休業
- 17日(火) 事務会
- 6月 4日~ 5日 東日本区大会(宇都宮)参加
- 21日(火) 事務会

2021-2022 横浜とつかクラブ 役員 (案)

会長	若木一美	地域奉仕事業	吉原 訓
副会長	吉原 訓	会員増強事	浦出昭吉
書記	加藤利榮	国際交流事業	土方喜美代
会計	岡 進	国際交流事業	岡 進
直前会長	浦出昭吉	ユース事業	有田征彦
監事	加藤利榮	ドライバー	川津政義
メネット事業	吉原和子	ドライバー	柴原和可
ブリテン	加藤利榮	ドライバー	鈴木ひろ子
担当主事	瀬戸俊孝	ドライバー	山中奈子

〈後記〉

新緑からツユの季節へ…! **Change! 2022~** (T/K)